

## 琵琶湖ハンドブック三訂版の発刊にあたって

400万年の悠久の歴史を有し、世界有数の古代湖である琵琶湖は、60種を超える固有種をはじめとする多くの生き物でにぎわう豊かな湖であるとともに、近畿圏の人々の生活や産業をささえる貴重な水資源となっています。

私たちは、古来、この琵琶湖の豊かな恵みを楽しみつつ、自然と共生しながら、独自の生活様式や文化、景観をつくりあげてきました。こうした私たちの暮らしの姿が、平成27年4月には、「琵琶湖とその水辺景観～祈りと暮らしの水遺産」として日本遺産に認定されました。また、平成27年9月には「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が成立し、この法律において琵琶湖が「国民的資産」と位置付けられました。

大規模な赤潮を背景とした石けん運動をはじめ、先人が琵琶湖を大切に守ってきたように、私たちには、100年後、200年後も琵琶湖を美しく豊かな姿で引き継いでいく責務があります。しかし、琵琶湖の抱える課題は複雑化・多様化の一途をたどり、解決に向けて待ったなしの状況にあります。

先人の心を受け継ぎながら、琵琶湖を「守る」のはもちろんのこと、琵琶湖を「活かす」ことで人との関わりを豊かにし、琵琶湖を世界一魅力的な湖として未来に引き継いでいきたいと思っています。そのため、琵琶湖と共に生き、環境や生き物のことも考えながら、人と人が支え合うことを大切にす私たちの営みを、持続可能な社会づくりのモデルとして発展させていく取組を進めています。そして、これを「琵琶湖新時代」と表現し、「一緒に取り組みましょう」と呼びかけるとともに、未来と世界とのつながりを重視しながら、経済成長、環境保護、社会的包摂の3つの統合的な解決をめざす国連の持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の視点を取り込んだ取組を進めているところです。

このハンドブックでは、琵琶湖をとりまく環境や社会情勢の様々な変化を踏まえ、琵琶湖の歴史や魅力、さらには課題などを幅広く、わかりやすく紹介しております。本書が、今私たちが琵琶湖のために何ができるのかを考え、行動するきっかけとなり、琵琶湖を中心に、森、川、里などとの様々なつながりを意識した持続可能な社会づくりの取組の輪が大きく広がっていくことを期待します。

滋賀県知事

三浦大造

## 琵琶湖ハンドブック——目次

発刊にあたって ..... 2



ワコオオナマズ

### 第1章 琵琶湖のあらまし

1-1	「琵琶湖」の名前 .....	8
1-2	世界の湖と琵琶湖 .....	10
1-3	ラムサール条約 .....	12
1-4	滋賀県のあらまし .....	14

### 第2章 琵琶湖を食べる・遊ぶ・学ぶ

2-1	食文化 .....	16
2-2	食材 .....	18
トピック	湖魚料理 .....	19
トピック	琵琶湖八珍 .....	20
2-3	心に響く近江の歌 .....	22
トピック	琵琶湖周航の歌 .....	24
2-4	文学 .....	26
2-5	水辺のあそび .....	28
2-6	湖上のレジャー .....	30
2-7	映画・TVドラマ .....	32
2-8	観光 .....	34
2-9	島 .....	36
トピック	日本遺産 .....	38
2-10	公園 .....	40
2-11	琵琶湖ルール .....	42
2-12	環境教育・環境学習 .....	44
トピック	びわ湖フローティングスクール「うみのこ」 .....	46
トピック	森林環境学習「やまのこ」 .....	47
トピック	農業体験学習「たんぼのこ」 .....	48

### 第3章 琵琶湖と人の歴史

3-1	水中遺跡（湖底遺跡） .....	50
3-2	城 .....	52
3-3	湖上交通史 .....	54
3-4	瀬田唐橋 .....	56
3-5	近江八景と琵琶湖八景 .....	58
トピック	絵画作品で追う「唐崎の一寸松」の成長ぶり .....	60
3-6	漁業の歴史 .....	62
3-7	稲作の歴史 .....	64
3-8	里山の成立 .....	66